

## 北陸農政局信濃川水系土地改良調査管理事務所長表彰を受賞しました。

当社は、令和8年2月27日に令和7年度北陸農政局農業農村整備事業等優良工事等の表彰において、事業所長表彰を受賞しました。

業務名：国営土地改良事業地区調査 阿賀野川用水地区 阿賀野川頭首工安全性確認他業務  
(北陸農政局 信濃川水系土地改良調査管理事務所発注)

### 業務概要：

本業務は、国営土地改良事業地区調査阿賀野川用水地区の阿賀野川頭首工について、別途検討されている新設頭首工完成まで既設頭首工の健全性を確保しておく必要があるため、弾性波調査や過年度から継続されているモニタリング調査の結果を踏まえ、既設頭首工の安全性の確認を行います。また、既設頭首工に対する耐震性能照査等の検討結果も踏まえ、阿賀野川頭首工安全性評価委員会の運営、資料作成を行います。加えて、モニタリング調査により河床洗掘が確認された護床工に対し、発生要因の推定、対策工検討の実施、及び、新設頭首工に対し、小水力発電施設導入可能性検討を行った上で、事業計画書(案)の作成を行います。

表彰理由：以下の点において、優良業務として評価されました。

- 1) 創意工夫：特に劣化が著しい堰柱・エプロン・護床工について検討するための工夫を行った。
  - ① 堰柱は、外観目視やコンクリート強度試験等の一般的な機能診断調査からは判断できない劣化があるため、一般的なスケッチ図よりも詳細に状態監視が可能となる「堰柱施設管理図」を作成した。
  - ② 下流エプロンは、定期的なモニタリング結果の考察に加え、定量的に安全性を評価できる「安全性管理チェックシート」を作成した。
  - ③ 護床工は、定期的なモニタリング結果に加え、ゲート操作との関連を確認した上で本頭首工特有の傾向を踏まえた管理方法を設定した。
- 2) 新技術：堰柱躯体にかかる健全性評価に当たり、高周波衝撃弾性調査を基にしたコンクリートの一体化性の評価などについて、安全性評価委員会によりその妥当性を検討し、限定された期間における健全性を評価した。
- 3) コスト縮減：“限定された期間内”の機能保全計画を策定することで、既設頭首工に対する対策を最低限とし、事業全体のコスト縮減を図ることとした。
- 4) 波及効果：“限定された期間内”の施設監視計画及び機能保全計画という新しい取り組みであり、本地区の事例が他地区での検討の参考になると思われる。

管理技術者：総合技術第2部 見目宏文

担当技術者：総合技術第2部 永野茂、若月幹尚、戸田英徳

履行期間：令和6年4月25日～令和7年3月25日



表彰授与



表彰状